

参加者募集（作業の手伝いでも、見学のみでも可）

## 2018年度 寒風山の山焼き実験

津田智・増井太樹（岐阜大学流域圏科学研究センター）



ボランティアさんの協力のもとで山焼き実験地に火入れをおこなった(2017.4.22)

日本のほとんどの草原は、人為的な攪乱(草刈りや火入れなど)が継続されていないと維持されません。つまり、放置するとだいたい樹木が侵入するようになり、草原は森林へと遷移していきます。

寒風山でも、昔は草資源を利用するための草刈りが盛んにおこなわれていて、草原生の動植物がたくさん生息する良好な草原が広がっていました。近年は草の利用価値がほとんど無くなってしまったために管理放棄されて草原景観がだいたい荒廃している状況にありました。男鹿市はこの状況を解決するために、草刈りと山焼きを実施してきましたが、山焼きについては2016年から中断となってしまいました。草刈りと山焼きの効果の違いなどを明らかにするために、試験・研究を継続する必要があるため、2017年度からボランティアで参加されたみなさんの協力を得て「山焼き実験」の形で小面積の火入れをおこなうことになりました。今春の火入れは2回目の実験ということになります。

### 注意事項など

- 作業を手伝っていただける人は、竹ぼうき、熊手、レーキなどをご持参いただくと助かります。
- 見学だけの人は、なるべく作業の邪魔にならない場所からの見学をお願いします。
- **保険加入などはおこなっていませんので、自己責任で危険を回避してください。**
- 見学だけの場合でも多少は汚れる可能性がありますから、汚れても構わない服装が良いでしょう。
- **実験地近くには駐車できませんので、妻恋峠の駐車場から歩いて来てください(約10分)**
- **注意事項を守れない方の参加はご遠慮ください**
- 参加人数を把握したいので、メールでご連絡いただくと助かります (tsuda@green.gifu-u.ac.jp)。

なお、メールをいただいた方には実験計画書をメールで送信します

### スケジュール

- **4月21日(土曜) 9:00** 火災に直結するような気象警報が発令されていたり、雨天だったりした場合は翌日に延期します。それでもなお火入れできない場合は、中止を含めて再延期を検討します。
- **妻恋峠駐車場に集合**
- 順調に進めば昼前には終了します。

### 実験など

- 火入れは2ヶ所で、昨年の実験地の一部を2年連続で焼く場所と、新たに準備した0.5ヘクタールです。
- 山焼きをしているときの温度を測定します。津田が温度環境について解説しますので楽しみに。